

オールインワン学習クラウドで効果的なICT活用を実践



北九州市立門司海青小学校

創立 平成7年
学級数 10
児童数 253人

北九州市立門司海青小学校は、関門海峡を一望できる眺望豊かな学校である。平成9年の新校舎完成以来、整備された教育環境の中特色ある活動を行っている。特にICT教育には注力しており、九州各地からの教育視察や市長、教育委員、文部科学省からの視察が行われている。

GIGAスクール構想で1人1台端末が配備されてから、ICT教育はさらに加速している。
「ICTを使って授業する」のではなく、「授業の中でICTを使う」という姿を目指している。

今回は、門司海青小学校のとある1日を見学させていただき同校 嶋田開教諭にお話を伺った。

✓ 学習シーンとICT活用タイミング

朝学習

- 8:40~8:55

スマイルドリルで自主学習

国語タイムと計算タイムを日替わり実施

授業中

算数

複雑な図形を工夫して求めよう

- ① スマイルノートを使って図形の面積を求める
- ② 他の子のノートを確認したり、数人で話しあいをして考えを深める
- ③ 全員で求め方を確認する
- ④ スマイルドリルで今日の復習をする

持ち帰り学習

- 先生から配付された課題を解く
- その日の授業でわからなかったところや、できなかった問題を復習する

✓ 先生視点～スマイルネクスト活用ポイント～

朝学習

朝学習前

ドリル課題を配付する

教科書準拠だから扱いやすい



朝学習中

リアルタイムで取り組み状況を確認

ドリルの取り組み状況をリアルタイムで把握



学習後・放課後

学習状況の確認

クラス全体や1人1人の状況が見取れる



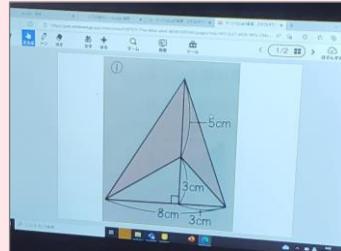
※画面ショットはサンプル画像です

授業

導入

ノートを配付する

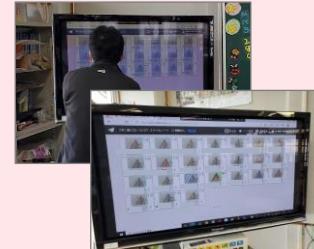
事前に作成したノートを配付



展開

リアルタイムで取り組み状況を確認

取り組み状況をリアルタイムで把握



協働学習に切り替え

ボタン1つで個別→協働へ



まとめ～授業後

大画面に映しながら確認

求め方を数パターンピックアップ



ドリル問題やノートの課題配付を
簡単に実現。
ノート教材作成も手軽にできるから
活用の幅が広がる。

ノートは、『ワンタップで個別学習モード』から
協働学習モードへ切り替えが可能。(次ページで、児童視点紹介)
授業中の操作が少なく、授業運営もスムーズ。

みんなが考えている間に求め方の違う子を
数人ピックアップしておく。
ドリルの時間を確保できなかつたので、
まとめのドリルは宿題。

✓ 児童視点～スマイルネクスト活用ポイント～

朝学習

朝学習前

課題から問題を選択

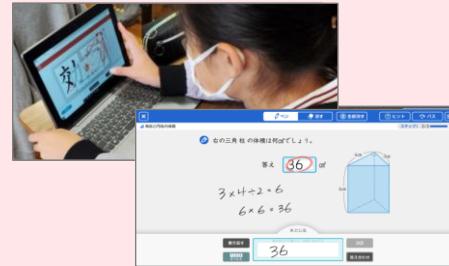
ログインからすぐに問題に取りかかれる



朝学習中

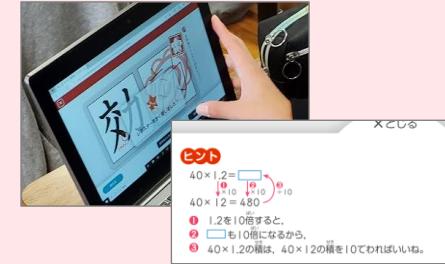
最適な解答形式

手書き解答や結線問題で効果的に学習



やる気アップの秘訣

スター獲得やハナマル、ヒントでやる気アップ



※画面ショットはサンプル画像です

授業

導入

課題からノートを選択

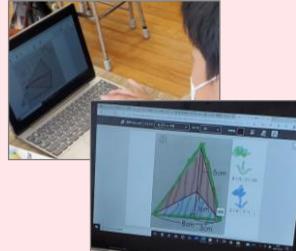
課題を選択して学習開始



展開

個別学習

まずは、自分で考える



協働学習

考えを深める



まとめ

大画面に映しながら確認

みんなに自分が考えた求め方を順序立てて説明する



分かりやすいUIとシンプルな操作性
だからすぐに学習に取り組める。
取り組む課題もわかりやすい。

先生が協働学習モードをオンになると、
他の子のノートを閲覧可能。
他の子のノートを参考にしたり、
隣の子に自分の解き方を説明して考えを深める。

先生が発表者ノートを映してくれるから
説明しやすい。
自分のタブレットで発表者のノートを見ながら
説明を聞くこともできる。

✓ スマイルドリルに関するアンケート(北九州市立門司海青小学校5年1組21人)

スマイルドリルを使うと学習に集中できますか？



スマイルドリルの学習はやる気がありますか？



門司海青小学校5年1組の**全員**が**スマイルドリルは集中できる**と回答。
また、**全員**が**スマイルドリルの学習はやる気がある**と感じている。

✓スマイルドリルに関するアンケート

(北九州市立門司海青小学校5年1組21人)

『やる気がある』と回答した子ども達の声 (一部抜粋)

問題に正解したら、丸がもらえるのがうれしいから。
自分がむずかしいと思ったら、ヒントがもらえる。
まちがえた時に、もう1回できるから、まちがえた所だけ、
やり直してきて復習しやすいから、やる気がてる。

答えたりしたあと、折紙や生徒がもらえるし、かんばったねとやる気が出て、次に進める。
星がもらえると元気になりますから、次に進んでやる気がある。

合格できた時花札がもらえるから、
おてほんを見せてくるから。

スターイヤタイヤみたいなものがあるから、
も、とスターイヤタイヤがもらいたいという気もちが
でて、やる気がてる。レスターをもらったりとは、
くくにやる気がります。

書くのがやりやすいし、手が必要ない。

問題をといて、はなまるか出ると、次もかんぱろうと思うからです。もしまたしても次の問題にかんぱろうと思うからです。正解すると星がもらえるので、次もたくさんといて星をもらおうと思うからです。

勉強をすると星がもらえるからうれしい。たくさん
単元があって、あきない。

書いて、答えることをしたら、たつけをしてくれるから。
・算数とか、分かれないと、ときにヒントをくれるから。
・分かれないと、まちがったときに、何回ちょうどせん
ごまるし、何回かやった回数かいくつてくる。

✓ 先生の声



北九州市立門司海青小学校
嶋田 開教諭

スマイルネクストの評価ポイント

授業の中で、色々なソフトやアプリの切替をしなくてよいところを評価しています。スマイルネクストは、“デジタルドリル”や“デジタルノート”、“教材”などが1つのパッケージになっているためです。アプリの切替などで授業が止まることがなく、子ども達の思考を妨げることはありません。操作もシンプルで分かりやすいので、ICTが苦手な先生でも使いやすいと思います。

スマイルドリルの評価ポイント

教科書準拠なので、課題を出しやすいです。とにかく、課題の配付が楽です。ページ全体がノートの役割をしているので、非常に活用しやすいです。筆算などの途中式を書き残すことができます。漢字練習に関しては、判定はかなりシビアなので子ども達が何度も書くという経験をするので定着に繋がります。

スマイルノートの評価ポイント

作成したノート(教材)の共有がしやすいです。また、子ども達が全体ページに戻ればみんなの考えをリアルタイムに見ることができるというのもいいです。他のデジタルノートでは、子ども達同士でノートの共有をするまでに操作が多く手間が掛かりますが、スマイルノートは戻ればみんなのノートが見れる状態にできるのがとてもいいです。“操作”ではなく“学習”に集中できます。

使用前と後で変わったこと

授業で使う問題や教材、課題を紙で準備したり、切り貼りして配付していたのが、今では写真を撮ってスマイルノートで配るだけになりました。手間が省け、子ども達に向かう時間を増やすことができています。



スマイルネクスト

小中学校向け学習クラウド